



●この取扱説明書は大切に保管してください。

マックス タイムレコーダ ER-80S

取扱説明書



ご使用上の注意・目次 P.1～

1.はじめに P.5～

2.タイムレコーダ本体の説明 P.7～

3.設定の概要 P.12～

4.タイムレコーダの準備 P.16～

5.使い方 P.28～

6.ご使用中に P.30～

- ご使用前に必ず取扱説明書をお読みください。
- この取扱説明書と保証書は必ず保管してください。
- この取扱説明書の内容を無断で転載することは禁じられています。
- 本機の仕様は機能向上のため、予告なしに変更することがあります。

このたびは、マックスタイムレコーダER-80Sをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

ご使用の前に本取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

ご使用上の注意

■表示について

この取扱説明書および商品には、本機を安全に正しくお使いいただくためにいろいろな表示を使用しています。その表示と意味は次のようになっています



警告

取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定され、絶対に行なってはいけないことが書いてあります。



注意

取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険性が想定され、絶対に行なってはいけないことや、物的損害のみの発生が予想され、絶対に行なってはいけないことが書いてあります。



お願い

本機が故障して修理が必要となることが想定される操作や、現状復帰するために、リセットなどの操作が必要になるので絶対に行なってはいけないことが書いてあります。



メモ

操作上のポイントおよび知っていると便利なことが書いてあります。



参照

取扱説明書のページが異なる場合に参照するところが書いてあります。

■絵表示について



記号は「気を付けるべきこと」を意味しています。この記号の中や近くの表示は具体的な注意内容です。







記号は「してはいけないこと」を意味しています。この記号の中や近くの表示は具体的な禁止内容です。






記号は「しなければならないこと」を意味しています。この記号の中や近くの表示は具体的な指示内容です。

ご使用上の注意

⚠ 警告

	<ul style="list-style-type: none"> ●本機は絶対に分解または改造しないでください。 火災、感電、故障の原因になります。
	<ul style="list-style-type: none"> ●本機の内部に指、ペン、針金などの異物を差し込まないでください。 故障や感電、けがの原因になります。 ●電源は直接コンセントから取り、<u>タコ足配線はしないでください。</u> 火災の原因になります。 ●電源コードの上に重たいものを絶対にのせないでください。 コードに傷が付いて、火災や感電の原因になります。 ●濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。 感電の原因になります。 ●水、薬品などが本機にかからないようにしてください。 故障や感電の原因になります。
	<ul style="list-style-type: none"> ●電源は100V専用コンセントを使用してください。 100V以外の電源を使用すると、故障や火災、感電の原因になります。
	<ul style="list-style-type: none"> ●万一内部に水などが入った場合は、電源プラグをコンセントからすぐに抜いて販売店に修理を依頼してください。 そのまま利用すると、故障や火災、感電の原因になります。 ●故障のまま本機を使わないでください。 煙が出ている、変な音やにおいがするなど故障のまま使用すると火災、感電の原因になります。 すぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理を依頼してください。

⚠ 注意

	<ul style="list-style-type: none"> ●大きな容量を必要とする機器（冷暖房機器、冷蔵庫、電子レンジ、OA機器等）とコンセントを共用しないでください。 電圧が下がり本機が誤動作する可能性があります。 ●紙や布を本機の上にかぶせたり置いたりしないでください。 火災や故障の原因になります。
	<ul style="list-style-type: none"> ●プリンタヘッドには絶対にさわらないでください。 印字直後のプリンタヘッドは高温になっており、やけどの原因になります。
	<ul style="list-style-type: none"> ●長時間使用しないときは、安全のために必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 ●設置場所を移動する時は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行なってください。 無理をするとコードが傷つき、火災、感電の原因になります。

